



大晦日 除夜の鐘つき

西林寺だより

発行元
西林寺門徒総代会
広島県安芸郡坂町
坂東3-14-17
(082)885-0018
西林寺
<https://sairinji.or.jp>




杖のことば

「善人」ばかりの家には
争いが絶えないが
「悪人」ばかりの家には
笑顔が絶えない

近現代150年の歩み(7)

戦中のシカゴで仏教会設立に奮闘された西林寺14世住職行道が語った当時の話です。
「日本の敗色が歴然とした頃、シカゴのあるレストランに母子連れの若い日本人が入って来た。当時は日本人の顔を見るのも嫌だという米国人がほとんどで、そこにとりわけ日本人嫌いの一老婦人がいた。ツバでも吐いて出て行こうとした時、この母子のもとへ食事が運ばれてきた。そして若き母と幼き子が静かに合掌して食事を始めたのである。立ち去りかねて母子を見ている中に食事を終えた二人は、再び合掌して満ち足りた感謝の言葉を捧げた。深い感銘を受けた老婦人はその母子を自宅に引き取り生活を保障し、更に反日感情のため入院さえ思うに任せぬ多くの日本人同胞を、その老婦人の夫が院長をしている大病院に収容加療するにいたった。幼少から家庭において習慣づけられた宗教的な行儀が、最も日本人嫌いの一米国婦人の心を揺さぶり母子の生活のみならず、他の多くの日本人同胞を救う機縁となった」というのです。

ここに
争いを越え
平和へ
進む道筋
を見出す
ことが
できます。



第14世住職河野行道

協賛行事

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年の協賛行事へお寺ご縁づくりとして、多様な行事を計画しました。

2回目は10月5日に「革雑貨手作り体験教室」を開催し、坂西の「まめ工房」様にご指導いただき、ネームストラップや鉛筆カバーを作りました。(参加者30名)



3回目は、12月7日に坂町役場に協力いただき、ソフトバンクショップスマホアドバイザーの皆さまを迎えて「初心者スマホ活用教室」を開催しました。(参加者15名)



◇ 第4回 2月1日(木) 13時30分から

ヨガ体験教室(参加費 五百円)

「椅子に座って行うヨガ体験」

講師 ヨガインストラクター

正原咲子先生

寄付御礼

次の尊いご芳志を頂戴しました。

高脚御経卓

村上清子様

右、西林寺什物として

門信徒会館冷蔵庫

蓮華の会・門徒総代会役員一同

右、西林寺什物として

金一封 門徒総代会へ

有田 敏子様・山縣早苗様

下田 順子様・寺田良一様

右、護持協力金として

縫部 靖江様・國弘雅夫様

渡子 和子様・木村斉明様

久留島 将城様

右、香典返礼として

金一封 仏教婦人会へ

縫部 靖江様・木村斉明様

右、香典返礼として

金一封 仏教壮年会へ

縫部 靖江様・渡子 和子様

右、香典返礼として

お知らせ

西林寺の親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要は、来る5月6日(月)に修行いたします。(詳細は次号にて)

法座案内

御正忌報恩講

一月十五日(月)昼席より

十六日(火)昼席まで

御伝鈔拝読十五日夜席

十六日昼席

講師 呉市焼山中央

浄心寺 大江弘宣 師

御紐解法座

二月十六日(金)昼席より

十七日(土)昼席まで

講師 鹿児島市福山町

善福寺 長倉伯博 師

春季彼岸会

三月十九日(火)昼席より

二十一日(木)朝席まで

講師 山県郡北広島町

本立寺 朝枝暁範 師

朝席7:00～・昼13:15～・夜席19:30～

編集後記

数多の争いに終息の気配が見えませんが、争いはどちらか自分が正しい(善人)と思うところから起ります。争いもコロナもない年にしたいものです。

聞思録(もんしりく)

ある年の報恩講参りの折、法話のリクエストをいただきました。「杖のこぼし」の善人ばかりの家には 争いが絶えないが 悪人ばかりの家には 笑顔が絶えない についてのお話です。

「あるところに、Aさんの家(善人ばかりの家)とBさんの家(悪人ばかりの家)が隣り合って住んでいました。Aさんの家は、喧嘩ばかりで、雰囲気は良くありません。Bさんの家は、いつも笑いが絶えず、みんな仲良し。ある時、Aさんのお父さんが、Bさんのお父さんに尋ねます。「お宅は皆さん仲良くですね。どうしてですか」。Bさんのお父さんは答えます『うちは、みんな悪人だから。もしかしたら、お宅は皆さん善人なのではないですか』と。こんな話があります。お母さんが来客に玄関先でお茶を出し、湯呑を片付ける前に帰って来たお父さんが、湯呑に気づかず、蹴とばして割ってしまったとします。Aさんのお父さんは『だれがこんなところに湯呑を置いたんだ』と怒鳴り、お母さんは『ちゃんと見て上がってくださいな』と言い、お母さんが出てきて『大事にしていた湯呑だったの』と。一方、Bさんの家では、湯呑を割ったお父さんがすぐに『ごめん』と謝り、お母さんは『私こそごめんなさい。片付けよ』

うと思いつながら後回ししておいた私が悪いのよ』と謝り、お婆さんは『形あるものはいつかは壊れる。怪我がなくて何よりじや』と。この話のように、争いになるのは間違いや失敗をしたからではなくて、Aさんの家のように、自分は悪くない(善人)と思い、自分の非を認めず、相手の非を責めてしまうからだということ。仏法を学ぶことは、そういった価値観が崩されてゆくことでもありません。自分が悪かった(悪人)と思えば、自分の考えを通さなくなり、争わなくなります。そこに、相手をも認めていける世界が恵まれてくるのです。しかしまた、どこまで深く自身の愚かさや自己中心性が自覚されるかが問われます。「自分が悪者になったおかげで仲良くできているんだ」といった傲慢さが湧き上がってくるかもしれません。善人面して生きてゆくことはまだ簡単です。仏法に自らの在りようを尋ね、振り返りながら、弱さ・愚かさを受け止めて生きてゆくことは難しいことです。しかし、そこで初めて素直に謝ることも反省することもできるので。本当の豊かな出遇いとは、その歩みの中からしか生まれてきません。だからこそ、日々お仏壇の前で手を合わせ、自身を振り返る時間が大切なのです。そこは唯一、素直に頭を下げるのできる場です。そんな場があることが何よりも素晴らしいことなのです。

仏教壮年会

西林寺仏教壮年会(会長林昭治)は、3年前に結成50年を迎えました。安芸北組仏教青年会の発足に先立つこと8年、第15世住職の庫蔵師の声掛けによって、昭和44(1969)年に、約30人の有志により、勉強会として活動がスタートしました。

現在の会員数は28人で、主な活動は、毎月10日を基本とした例会(現在は経典学習会)や法座の聴聞と座談会、安芸教区及び安芸北組の各種行事の参画等の仏教の学びをはじめ、本堂の煤払いや境内の清掃・松の剪定・除夜の鐘つきの手伝い等、仏教婦人会と連携して活発に活動しています。

町内40カ所に設置してあります西林寺専用掲示板は、仏教壮年会結成35周年の記念事業で制作されたものです。

入会を随時、受け付けています。関心のある方はご連絡をください。是非、いつしよに仏法に人生を尋ねていきましょう。



西林寺みのり食堂

毎月最終水曜日開催です。1月から3月は午後4時開始ですので、お間違いのないようにご参加ください。

多くのいのちと皆さまに感謝し、みんなで楽しく食事をしましょう。

お寺ヨガ教室

毎月最終火曜日(10時~11時30分)です。寒くなるにつれて身体の可動域が狭まってきます。けが予防のためにも新しい習慣を身につけましょう。体験参加(参加費五百円)も歓迎です。

この度は、2月1日(木曜日13時30分)に、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年の協賛行事としても開催されます。

本願寺では「子どもたちの笑顔のために募金」への協力を呼びかけ、全国から届けられた浄財で、子どもたちの貧困の克服に向けた支援を行っております。

この浄財より、昨年に続き「西林寺みのり食堂」に「金十万円」の支援をいただきました。西林寺の本堂にも募金箱を設置しております。募金へのご理解ご協力をよろしくお願い致します。

仏教婦人会 あれこれ

仏教婦人会報恩講法座

11月21日より今年もご住職に講師をお願いして報恩講法座を修行しました。

今年はお斎を再開することができました。

また、安芸北組の報恩講三寺参りも再開され、他のお寺のご門徒の皆さまもいつしよに、親鸞聖人への感謝と知恩の確認の中に、自身のいのちと向き合う大切なご縁をいただきました。



ダーナ募金のお願い

「ダーナ」は他者を思いやる心の実践で、仏教婦人会では慈しみの心・支え合う心を実践するダーナ活動を推進しています。

お預かりした浄財は、貧困・人権・教育・環境保護活動等に支援しています。

今年も幾多の災害が起りました。熊本やハワイでは真宗寺院が全壊しました。ご支援のご協力をよろしくお願ひします。

仏教婦人会行事予定

- 毎月5日 理事会
- 毎月24日 役員勉強会
- 1月12日(金) おみがき・清掃奉仕

仏教壮年会 あれこれ

境内 松の木剪定作業

10月27日から松の木の剪定作業を行ないました。「もみあげ」と呼ばれる秋の剪定作業は松特有のもので、とても手がかりです。今年も仏教壮年会有志の皆さま延べ30人以上のご奉仕によって、見事な樹形に整えていただきました。



仏教壮年会行事予定

- 毎月10日 月例会(経典学習会)
- 1月12日(金) おみがき・清掃奉仕
- 3月9日(土) 安芸教区公開講座